

エクソソームを介した臓器連関： 病態寄与機構と疾患バイオマーカー解析

エクソソームとは、全ての細胞が産生している微小胞で、細胞のゴミ処理機構として知られていましたが、近年、細胞間での情報媒体としても機能していることが分かりました。

我々はこれまでに、がん細胞は「エクソソーム」をいち早く転移先の臓器に送り込み、その環境を変えることでがん細胞が転移できる場所を作り上げることを明らかにしました。

今回はエクソソームがどの様にかん転移先を規定するのか、そしてがん以外の疾患に関わるエクソソームを介した臓器連関についても、現在行っている研究内容を踏まえてお話しさせていただきます。

日時

9/9 FRI 13:00~14:00

演者

東京工業大学 生命理工学院 准教授

星野 歩子 先生

参加方法

会場：大阪大学・ニコンイメージングセンター（大阪大学医学系研究科 臨床研究棟 L階）
ご所属、お名前記載の上、register@handai-nic.com宛にご連絡ください。

オンライン：ZOOMにて実施します。下記フォームよりお申込みください。

<https://go.healthcare.nikon.com/l/924973/2022-08-22/pzf48>

お問合せ

株式会社ニコンソリューションズ バイオサイエンス営業本部
Email: Nsl-bio.Marketing@nikon.com



オンライン
申込フォーム